

持参薬鑑別業務から見る 当薬剤部の現状についてⅡ

(福島県立南会津病院研究発表会)

平成22年3月 日
福島県立南会津病院薬剤部
石井 美由紀

薬剤部背景

- | | |
|----------|----------|
| ● 平成20年度 | ● 平成21年度 |
| 薬剤師 5名 | 薬剤師 4名 |
| 事務員 1名 | 事務員 1名 |
| 臨時職員 1名 | |

持参薬鑑別手順

- ①持参薬鑑別依頼書が薬剤部に届く
- ②病棟から持参薬を回収
- ③鑑別書作製(鑑別作業、データベースへの入力による薬品検索、相互作用・重複投与のチェック、当院での代替品記載など)
- ④薬袋作製、残数調整[中止薬がある場合には再調剤]
- ⑤コピー(薬局保存用)
- ⑥病棟へ申し送り

方法

- 平成21年6月～9月までの4ヶ月間
- 1病棟、2病棟から依頼された持参薬鑑別の件数及び一件あたりに費やされた時間を計測
- 再調剤(一包化、中止薬抜き出し、残数調整など)の件数及び一件あたりに費やされた時間を計測
- ただし、持参薬鑑別時間は、鑑別作業、データベースへの入力による薬品検索、相互作用・重複投与のチェック、薬袋作り、残数調整などにかかった時間とした
* 鑑別依頼書が薬剤部に届いてから病棟へ薬を取りに行っている時間やカルテ情報のチェック及び鑑別後の看護師への申し送りに要する時間などは除外した

持参薬鑑別件数

● 6月2日～9月30日の4ヶ月間における総件数166件

	1病棟	2病棟	合計
6月	26件	25件	51件
7月	25件	18件	43件
8月	16件	28件	44件
9月	14件	13件	28件*

* 外来1件含む

持参薬鑑別の所要時間

一件あたり
平均 53分
最低 4分
最高 300分

新編增補古今圖書集成

所處地點	原因
中華人民共和國	中國政府
蒙古	蒙古政府

三

開拓經濟の發展と其の

長安書社

金匱要略卷之二十一

（三）氣候條件：氣溫、降水量、土壤等。

卷之三

卷之三

金益	新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡
新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡
新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡
新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡
新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡	新嘉坡

再調剤件数

● 6月2日～9月30日の4ヵ月間における総件数55件

中止薬抜き出し	24件
残数調整	10件
一包化	5件
粉碎	5件
半錠作製	2件
その他	19件

再調剤の所要時間

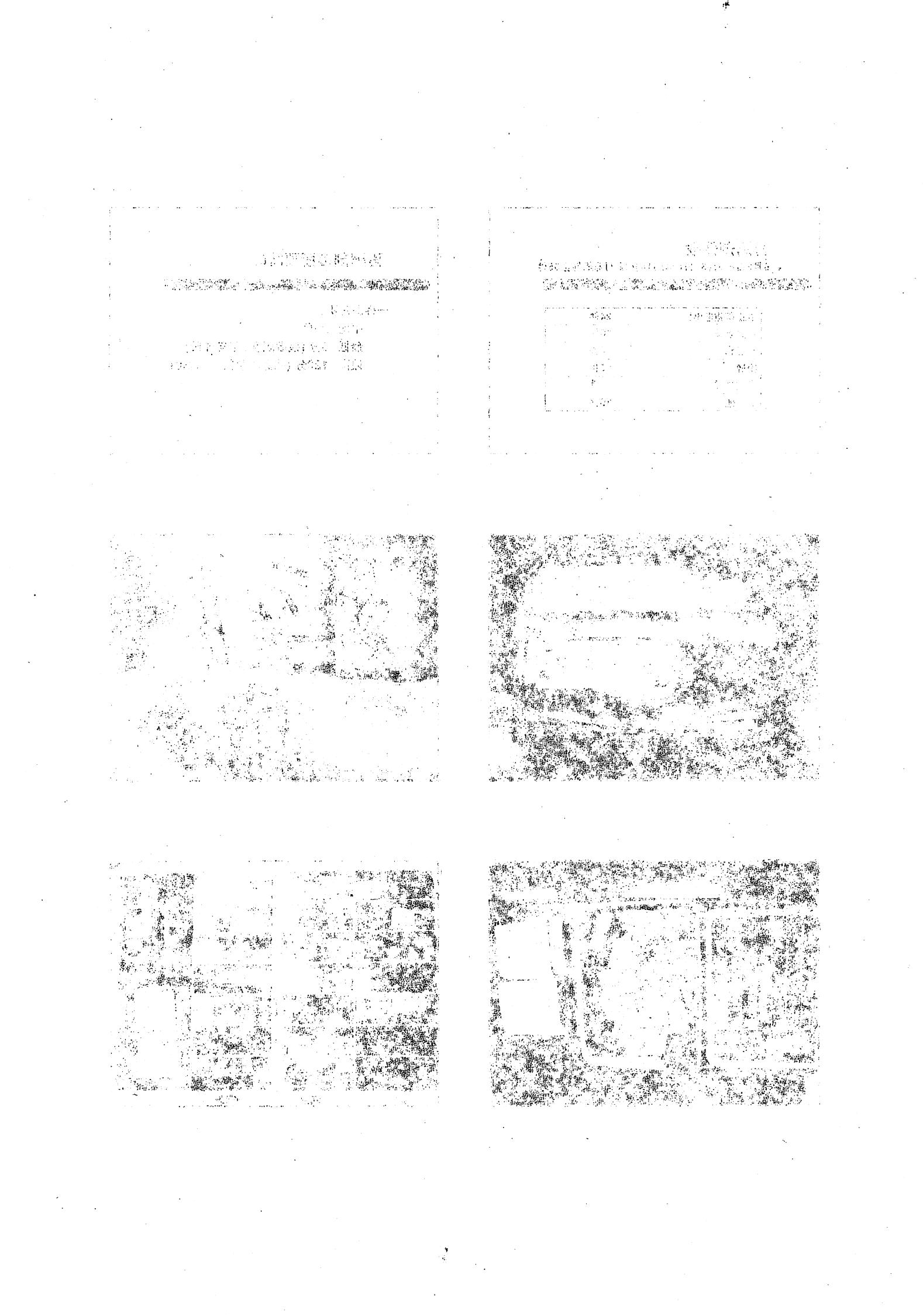
一件あたり

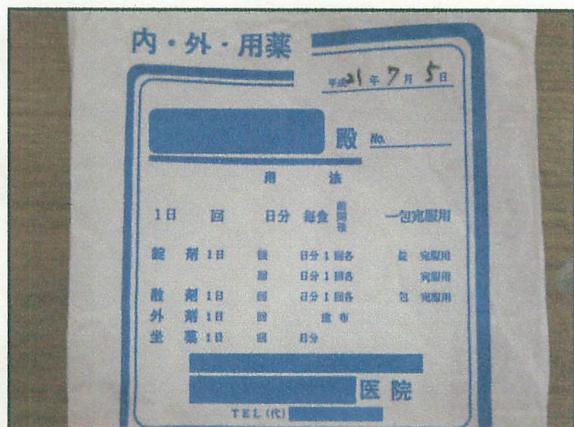
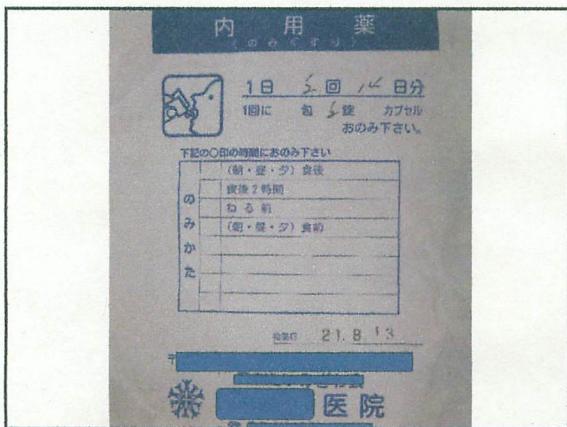
平均 29分

最低 5分 (残数調整、半錠作製)

最高 120分 (残数調整後、一包化)

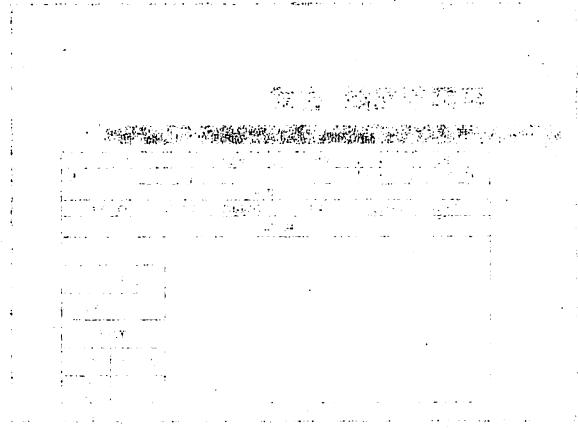
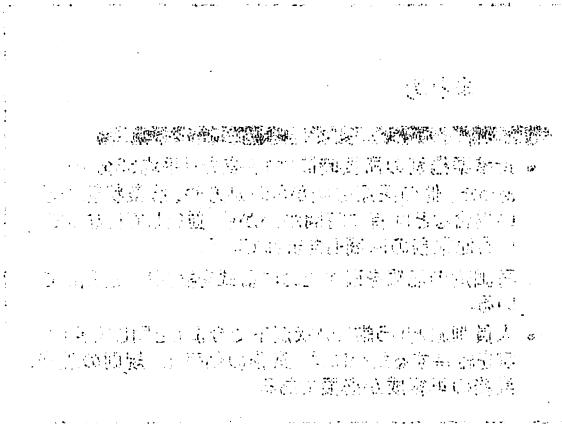
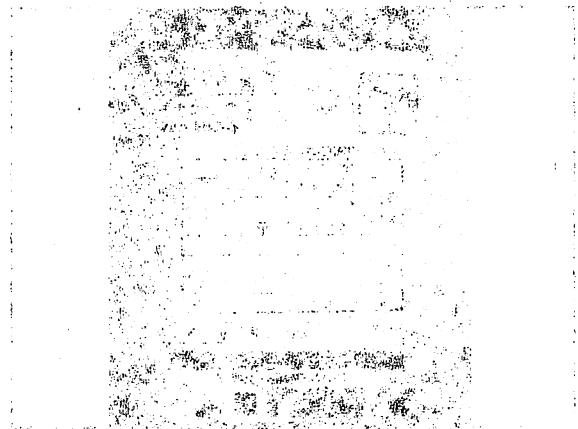
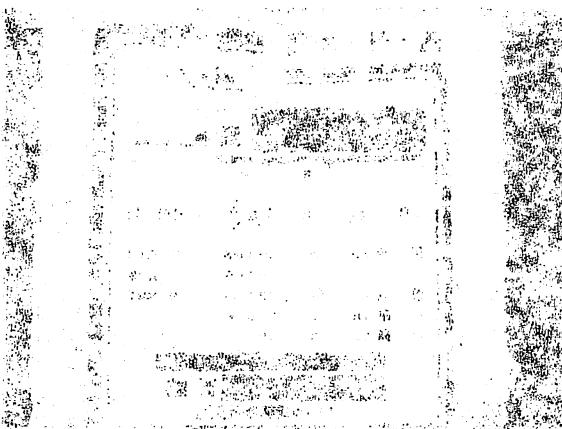
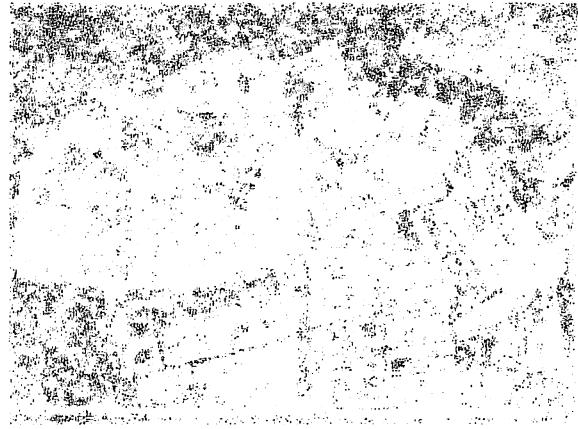
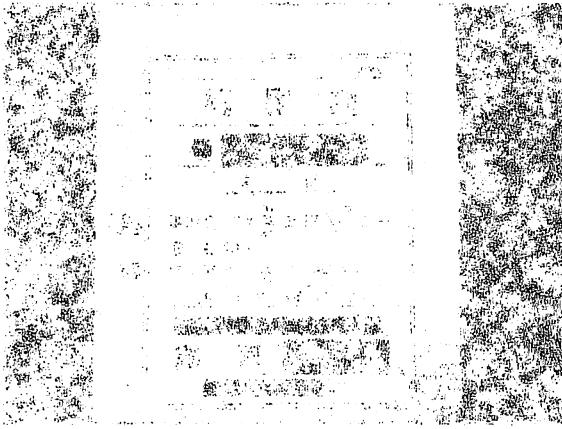


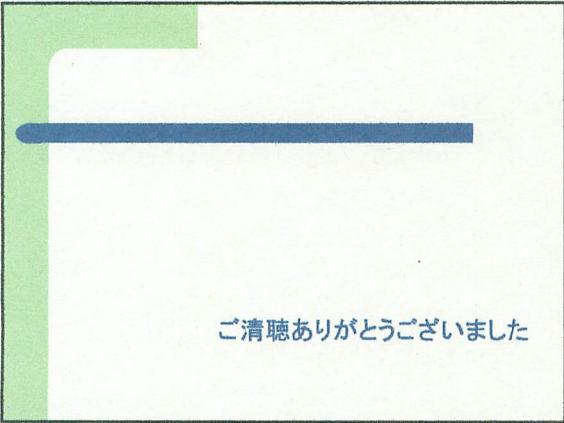




再調剤記録 書式									
日付 平成 年 月 日	疾患 1・2	依頼者 さん	患者ID 姓	患者名					
再調剤内容 □院外 □ローテル □中止処方記述 □手書き表記 □持続調理 □その他 処方内容									
<table border="1"> <tr><td>主治医</td></tr> <tr><td>先生</td></tr> <tr><td>薬剤師</td></tr> <tr><td>指示宛</td></tr> <tr><td>監査</td></tr> </table>					主治医	先生	薬剤師	指示宛	監査
主治医									
先生									
薬剤師									
指示宛									
監査									

まとめ				
<ul style="list-style-type: none"> 持参薬鑑別の所要時間は1件あたり平均53分であった。他の医療機関からの処方や、服薬状態が悪い場合などは特に時間がかかり、並行して行なっている他業務の時間も含まれている。 再調剤の記録を残すために書式を検討し、運用している。 人員削減という厳しい状況下で今までと同じ業務内容を維持するためには、業務の効率化、規則の遵守、業務の再編成が必要である。 				





ご清聴ありがとうございました